

小山町 菜の花こども園 園長 武藤ちえみ先生

今回は駿東郡小山町にあります菜の花こども園を訪問させていただきました。大きな工場が点在する山間の道をさらに上ると、小高い丘の上にきれいな建物が二棟見えてきました。複合介護施設菜の花の丘と、道路を挟んで隣接する菜の花こども園です。



「足柄山の金太郎」で有名な御殿場線足柄駅と「あしがら温泉」の中間あたり、東名高速道路の足柄サービスタリアも見える丘の上に位置し、周囲には広大な山林が広がる恵まれた環境の中にありました。子ども達は、園舎の横に昔からある小道を下り、林の中を民家の集落まで散歩に行くのですが、途中の林の中には、トトロが隠れていたり、猫バスのバス停があったりと、映画の世界に入り込んだ体験が出来るそうです。

平成二十八年四月に建てられた平屋建ての園舎の屋根の上では大きなサンタクロースが出迎えてくれます。これは、煙突のある園舎の屋根を見た理事長が、「煙突にはサンタでしょう。」と言って、寄付をしてくれたもので、

クリスマスの時期にはライトアップもされるそうです。

玄関ホールに入ると、正面にはクッション材と人工芝が敷かれた中庭が温かな光を受けていました。夏には、未満児や支援センターに来た親子がプール遊びをするそうです。四方をガラスに囲まれ、どのクラスからもアクセスできるので、小さな子どもでも安心して遊ぶことが出来ると感じました。



新設された菜の花こども園ですが、町から地元子ども達のいる施設を作つて欲しいという強い要望に応えて設置されたそうです。そのため、地域の方々との交流も多く、育てた花を持って来たり、散歩している途中で声をかけていただき、野菜を持たせてくれたりするそうです。園としても、地域に開かれた園を強く意識していて、文化祭や体育祭へ出かけていく事も多いと伺いました。木造の園舎も地場の木材を多用しており、建設に関わった大工さんも地元の方なので、扉の反りなどの不具合が無いかと心配し

て頻繁に様子を見に寄ってくれ、すぐに直してもらえます。とのことでした。

菜の花こども園では開園当初より休日保育を行っており、三六五日開園して、自園児だけではなく、町全域や隣接する御殿場市からも依頼があるそうです。開設以来二年八ヶ月の間で子どもがいなかったのは、予約キャンセルのあった年末年始の二日だけでしたとおっしゃる姿に頭の下がる思いでした。



隣接している、同じフジ虎ノ門グループが運営する複合介護施設の「菜の花の丘」との交流も日常的に行われており、施設に通うお年寄りが二名位で園内にやってきて一時間

くらい子どもたちと遊んでくれることで、車椅子の方が入ってきてても、子ども達が自然と優しく声をかけられるようになったと園長先生が話してくれました。また、介護施設に常駐している医師が小児科の先生で、子どもの様子を診てくれ、気になることをすぐに相談できる等、本当に理想的な環境にあると感じました。その中で子ども達はのびのびと元氣よく過ごしております。

今回は年末のお忙しい中を快く取材に応じてくださった武藤園長先生をはじめ職員の皆様、本当にありがとうございました。